

2010年度

科目名	言語学概論A		
担当教員	千田 俊太郎		
配当	日文2	コード	53310
開期	前期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	ことばの仕組みの研究方法: 音声学、音韻論、形態論を学ぶ		
目的と概要	言語はさまざまであるがばらばらではない。本講義では言語の音そのものを対象とする音声学、言語の仕組みの一部としての言語音を対象とする音韻論、語の内部構造を対象とする形態論の概説をすることで、人間の言語に特有に見られる秩序、特にその形式面における基礎を分析する方法を学ぶ。		
成績評価法	学期末の試験(75%)+平常点(授業への積極的な参加、宿題等25%)		
テキスト	定めない		
参考書	テーマ別に必要に応じて紹介する		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回 はじめに 言語学とは何か(あるいは言語学とは何でないか) 第2回 音声学: 調音の仕組み 第3回 音声学: 母音 第4回 音声学: 子音 第5回 音声学: 世界の言語と音 第6回 音韻論: 音素、ミニマルペア、相補分布 第7回 音韻論: 音素体系 第8回 音韻論: 音節とモーラ 第9回 音韻論: トーンとアクセント 第10回 形態論: 接辞派生と複合 第11回 形態論: さまざまな語形成 第12回 形態論: 屈折と派生 第13回 形態論: 語種と品詞 第14回 形態論: 主要部と従属部 第15回 まとめ			